

【受賞者の概要】

〔奨励賞 社会文化部門〕

- きむ・そんよん
1. 氏名 金 成妍
 2. 年齢 43歳 ※2022年11月3日時点
 3. 肩書 久留島武彦記念館館長
 4. 住所 大分県玖珠町



【受賞理由】

氏は、童話作家で「日本のアンデルセン」と呼ばれた久留島武彦を研究してきた。戦前、国内外で口演童話の普及に努めた久留島の足跡をたどり、韓国での活動を掘り起して光を当てたり、久留島の師である巖谷小波を研究して韓国で出版するなど、その研究姿勢は意欲的で、児童文学に関する数々の受賞にもつながった。

また、久留島の出身地である大分県玖珠町に招かれ、町民講座の講師として久留島の説いた教えを伝えていく中で、久留島の存在は地元で再認識され、町立記念館建設という顕彰事業へと高まり、自ら館長に就くなど、その行動力と実績は高く評価される。

さらに、氏は政治的に課題を抱える日韓関係にあって、陶芸展や児童の授業交流など地道な日韓交流にも力を注いできており、久留島の顕彰事業とともに、その幅広い活動に期待を寄せるものである。

【主な受賞歴】

2008年	第48回久留島武彦文化賞個人賞受賞（外国人初、史上最年少）
2010年	第34回日本児童文学学会奨励賞受賞
2016年	第39回巖谷小波文芸賞特別賞受賞（外国人初、史上最年少）